

委員会視察報告 (2)、会議の開催状況

建設環境委員会

日程・視察先

7月3日 北海道小樽市
7月4日 北海道苫小牧市

報告者 建設環境委員長
保谷 清子

北海道小樽市

「商店街の活性化に関する事業等」について

西東京市の商店街では、近隣地域への顧客の流出や不況による消費の低迷により、厳しい状況が続いており、本市商店街活性化の参考にするため視察を行った。

もともと小樽市は、新鮮で豊富な素材等を利用した加工品を多く生産し、



小樽市消費者動向調査報告書

全国的な販路拡大に努め、「商工港湾都市・観光都市」の性格を有している。

しかし、現在は人口の減少が続く、大型店の出店や札幌商圏の拡大、長引く不況による消費の低迷など、市内の商業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

このような中で、さまざまな調査で実態をつかみながら商店街等の活性化に関する事業に取り組み、成果を上げている。

「空き地・空き家バンク制度」について

西東京市では、4年前の調査で、8,590戸の空き家があり、防犯や環境保全の面からも対応が求められており、先進事例を学ぶために視察を行った。

小樽市の「空き家・空き地バンク制度」は、市内にある空き家・空き地の物件情報を登録し、公開することによ

って、物件の有効活用を図り、市への定住人口や地域の活性化を促進するための制度である。

昭和63年時点で6,230件であった空き家の推計値は、平成15年には9,660件と増加。このため、冬期の落雪、家屋崩壊等の事例が増加しており、当制度の促進が図られている。

北海道苫小牧市

「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」について

西東京市では、東日本大震災等を踏まえ、平成25年夏ごろを目途に「地域防災計画」の見直しを進めている。また、災害時のボランティア受け入れや活動について、社会福祉協議会と調整中であり、先進施策を学ぶために視察を行った。

苫小牧市は、「地域防災計画」の中で、災害時にボランティアセンターを設置



することを位置づけている。

平成23年9月につくられた「苫小牧市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」は、災害時のボランティアの受け入れ等に関する基本的な考え方を中心に記述し、当面の大規模災害に備えた準備に活用するとともに、災害が発生した場合には、市や社会福祉協議会職員等によって活用されることを想定している。

「樽前予約運行型バス」について

西東京市では、市内循環の「はなバス」を運行しているが、道幅の狭さ等で市民要求に答えられない部分がある。このため、デマンド型コミュニティバスを導入している経験に学ぶために視察を行った。

苫小牧市では、平成23年3月作成の「地域公共交通総合連携計画」の中で、利用者が著しく少ない路線に対し、「デマンド型コミュニティバス」などの新しい交通システムを導入することが位置づけられた。

これに伴い、平成24年4月1日から、一部路線の運行方法を変更し、事前に登録された利用者の電話予約を受け、予約があった停留所間を結び「樽前予約運行バス」が運行されている。

駅周辺再開発等特別委員会

日程・視察先

10月16日 石川県金沢市
10月17日 福井県福井市

報告者 駅周辺再開発等特別委員長
小幡 勝己

石川県金沢市

「金沢市まちづくり条例」・「特別用途地区・高度利用地区」について

現在、本市において「ひばりヶ丘駅周辺」のまちづくり事業が進められている。今後、事業が進捗する上で課題となるであろう「まちづくりのルール」に関し、これを条例化し、運用している金沢市を視察することとした。

金沢市は、「住民によるまちづくり（土地利用協定など）」「まちづくり活動支援」「開発事業の手続き」等を盛り込んだ「市民参画によるまちづくりの推進に関する条例」及び「土地利用

の適正化に関する条例」（これらを総称し「まちづくり条例」という。）を制定している。

金沢市では、市民主体による「まちづくり協定」を市長との間で締結している（24地区）。「まちづくり計画」の対象は、「町内会」や「街区」「学校



区」等それぞれであり、「まちなみの連続性」等に配慮し、都市としての魅力づくりに地域が主体となって取り組んでいる様子を感じ取ることができた。また、この協定の実効性という観点から、この協定に従わない開発事業者等への対応について尋ねたが、条例に規定する「勧告」や「事業者の公表」は、条例制定後において例がないとのことであった。

条例により、地域にそぐわない開発行為に抑止力が働く一方、「勧告」「公表」の適用には行政側も慎重を期す必要がある。

その他、金沢市が取り組む再開発事業等の説明も受けたが、本市同様、地権者等との長きにわたる交渉、地域関係者とのさまざまな調整等の上、現在の「まち」が成り立っていること、そして何より、金沢市の「まちづくり」にかける思いを十二分に味わうことができた視察であった。

福井県福井市

「中心市街地活性化（賑わいの道づくり事業ほか）」について

今回は、「中心市街地の活性化」自体に主眼を置くのではなく、その事業で取り組まれている手法等に注目し、視察を実施した。

福井市では、中心市街地整備改善事業の一つとして「賑わいの道づくり事業」を実施した。商店街内のコミュニティ道路や歩道の整備、さらには電線類の地中化等の街路事業のほか、ポケットパーク整備、道路修景、植栽等の整備が行われ、「回遊性」を重視した街並みとなるよう整備が行われていた。

本市事業とは事業規模の違いはあるにせよ、「まちづくり空間」の創出や、整備後の道路景観を生かした魅力ある店舗づくり、道路空間を利用したイベント広場等、狭いエリアであっても、工夫次第で「魅力あるまち並み」を出現させるものであった。

また、整備後における地元商店街関係者による定期清掃やプランターの設置等、地域一体となったまちづくりを目にすることができた視察であった。



賑わいの道づくり事業（福井市）

会議の開催状況

2日	10月	28日	27日	26日	25日	24日	21日	18日	14日	13日	12日	11日	10日	7日	6日	5日	4日	3日	9月	29日	8月	
会議						委員会	出議案等上程（議決）、議会運営委員会	本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程）	本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程）	駅周辺再開発等特別委員会	議会議運営委員会、会派代表者会議	建設環境委員会	企画総務委員会、文教厚生委員会	本会議（一般質問、議案上程）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	第3回定例会・本会議（議案等上程）	議会議運営委員会		